

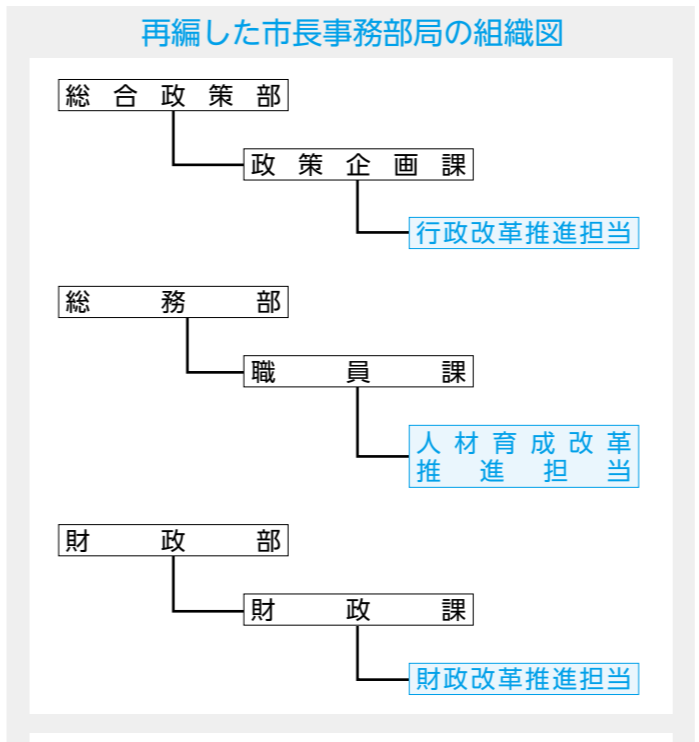
4月から市の組織が変わりました

トピックス

市長事務部局

〇構造改革を推進

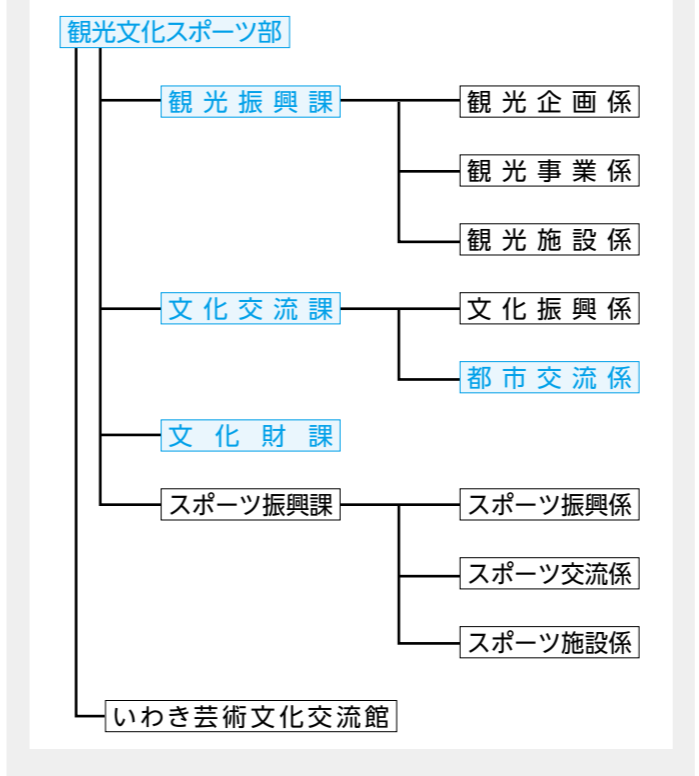
自然災害・感染症などの危機事象や世の中の仕組み・枠組みの変化、人口減少や少子高齢化、若者の流出、公共施設の老朽化などの諸課題に対応しながら「最適化・効率化・公民連携」の3つの視点で行政



運営の在り様を抜本的に変えていく構造改革を進めるため、政策企画課内に「行政改革推進担当」、財政課内に「財政改革推進担当」を新設しました。
また、職員課内の人材育成担当・法令遵守推進担当・行政管理係を「人材育成改革推進担当」に再編しました。

〇交流人口の拡大や地域の活性化推進体制を強化

新型コロナウイルス感染症の影響により、まちの活力低下が懸念されている中、観光・文化・スポーツ分野の相互連携をより強固にし、コロナ禍収束後におけるインバウンドも含めた交流人口の拡大や地域の活性化を積極的に推進する体制の充



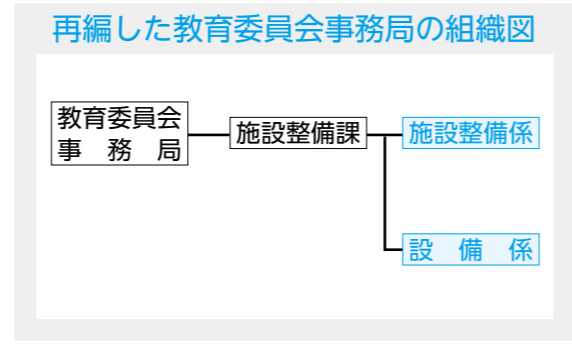
実・強化を図るため、文化スポーツ室と観光交流室を統合し「観光文化スポーツ部」を新設しました。
観光施策の効果的・効率的な推進を図るため、観光交流課と観光事業課を統合し「観光振興課」を新設しました。
都市交流事業は、延岡市や由利本荘市との交流など、

〇お問い合わせ
職員課人材育成改革推進担当
☎ 22・7407
教育委員会事務局
教育政策課総務係
☎ 22・7540

歴史や文化を背景とした事業が中心となっていることから、文化振興業務との一元化による効果的な施策展開を図るため「文化交流課」を新設しました。
文化財に関する業務は、専門性が高く、重点的な取り組みが求められることから、推進体制の強化を図るため「文化財課」を新設しました。
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の終了に伴い、スポーツ振興課東京オリンピック・パラリンピック担当を廃止しました。
〇土地区画整理事業の進捗に伴い廃止
いわき都市計画事業泉第三土地区画整理事業の事業の進捗に伴い、小名浜区画整理事務所を廃止しました。

教育委員会事務局

本年度以降も学校施設・公民館施設の長寿命化事業や廃校等の解体事業など、継続的に技術難度の高い大規模事業が予定されていることから、効率的・効果的な対応を図るとともに、児童・生徒や施設利用者の安全確保および教育環境の整備を推進するため、施設整備課に「施設整備係」と「設備係」を新設しました。



2/4 感染症対策監を新設

新型コロナウイルス感染症への対応について、より迅速で的確な対応を図るための体制強化の観点から、保健福祉部の所掌事務のうち感染症対策に特化し、その統括を担う専任の「感染症対策監」を新設しました。

当初は4月からの配置を予定していましたが、第6波による爆発的な感染拡大から、市民の皆さんの命と健康を守るため、予定を早め、2月4日に配置しました。引き続き、感染防止対策を進めていきます。

- 〇感染症対策監の主な役割
- ・新型コロナウイルス感染症対策本部などの統括
 - ・感染状況に応じた医療・検査体制などの調整
 - ・ワクチン接種体制の調整
 - ・まん延防止などに関する関係部署との連携

令和3年度雇用優良企業・女性活躍推進企業

＝雇用優良企業は50音順、女性活躍推進企業は認証番号順・敬称略＝

- 〇新規高卒者雇用優良企業
- ▷ アルプスアルパイン株式会社いわき事業所＝好間工業団地
 - ▷ 株式会社くすりのマルト＝勿来町
 - ▷ 品川リフラクトリーズ株式会社東日本工場＝常磐岩ヶ岡町
 - ▷ 日本製紙株式会社勿来工場＝勿来町
 - ▷ 古河電池株式会社いわき事業所＝常磐下船尾町
 - ▷ メルクパフォーマンスマテリアルズ合同会社小名浜工場＝泉町黒須野
- 〇障がい者雇用優良企業
- ▷ 角榮運搬有限会社＝常磐下船尾町
 - ▷ 株式会社クレハ分析センター＝錦町
 - ▷ 株式会社加地和組＝平
 - ▷ 有限会社キャニオンワークス＝好間工業団地
- 〇女性活躍推進企業（新規）
- ▷ 猪狩自動制御設計株式会社＝四倉町大森
 - ▷ いわきエコ・パルプ株式会社＝南台
 - ▷ 有限会社山野辺設備＝小名浜
 - ▷ 特定非営利活動法人いわき環境システム＝平赤井
 - ▷ 特定非営利活動法人ままは一と＝好間町下好間
- 〇女性活躍推進企業（更新）
- ▷ 日栄地質測量設計株式会社＝平
 - ▷ 株式会社アカデミー＝中央台
 - ▷ 株式会社地質基礎＝常磐水野谷町
 - ▷ 株式会社常磐エンジニアリング＝内郷白水町
 - ▷ 社会福祉法人育英会みそら保育園＝勿来町
 - ▷ 福浜大一建設株式会社＝小名浜
 - ▷ 林興業株式会社＝植田町
 - ▷ 福進工業株式会社＝泉町
 - ▷ 株式会社みちのくNテックス＝中央台
 - ▷ 渡辺エコサービス株式会社＝泉町下川
 - ▷ 株式会社荻野組＝小川町上平
 - ▷ 株式会社東コンサルタント＝平
 - ▷ 株式会社中山組＝中岡町
 - ▷ 株式会社福島スイケンエンジニアリング＝内郷御厩町
 - ▷ 株式会社東日本建設コンサルタント＝植田町
 - ▷ 株式会社渡辺組＝常磐関船町
 - ▷ 大和電設工業株式会社＝平上荒川



第二次市空家等対策計画を策定

トピックス

これまでの取り組み

市では、空家対策を総合的かつ計画的に推進するため、平成二十九年に「市空家等対策計画（第一次計画）」を策定し、安全・安心な生活環境の確保や地域活性化を図る施策のほか、

空家の実態調査などの取り組みを進めてきました。実態を踏まえた課題の解決に対応

本年三月に、本年度から令和八年度までの五年間を計画期間とする「第二次市空家等対策計画」を策定し

ました。

市の対策方針や方向性は第一次計画を継承しつつ、三カ年で実施した実態調査の結果を踏まえ、空き家の発生抑制・利活用・除却などの一層の推進に加え、管理不全の空き家対策の強化などの課題解決に向けて国

のガイドラインなどを考慮した上で、所要の見直しを行いました。

主な見直しとしては、不動産登記制度の見直しによる所有者情報の明確化や空き家バンク活用支援事業の促進などの新たな施策を追加しました。

○お問い合わせ
住まい政策課
空家対策係
☎ 22・7593

*空家バンク
いわき
空家等の情報を掲載していますので、活用してください。



市の基本姿勢

- ◆空家等の適正管理に関する啓発を行い、空家所有者の理解促進を図る
- ◆関係制度を周知し、所有者の自主的な対応を求める
- ◆地域活性化などの観点から空家等の有効活用を図る
- ◆周辺の生活環境に悪影響を及ぼす空家等（特定空家等）に必要な措置を講ずる

所有者などが自らの責任で的確に対応することが重要

対策方針

—活力あるいわきの再生へ向けて—

方向性1 空家化の予防

○主な施策

- ・良質な住宅ストックの形成・確保（継続）
- ・不動産登記制度の見直しによる所有者情報の明確化（新規）

方向性2 空家等の流通・活用促進

○主な施策

- ・「空き家バンクいわき（*）」の活用（更新）
- ・空き家バンク活用支援事業の促進（新規）

方向性3 管理不全な空家等の抑制・解消

○主な施策

- ・特定空家等への法的な措置の実施（継続）
- ・急迫した危険のある空家への「緊急措置」の創設（新規）

方向性4 空家等に係る跡地の活用等

○主な施策

- ・空き家除却跡地の保全・適正管理と流通の促進（継続）
- ・相続土地国庫帰属制度の周知（新規）

「100年フード宣言」に本市の食文化が認定

地域で受け継がれている食文化を100年続く食文化として継承・PRする文化庁の「100年フード宣言」に、メヒカリの唐揚げ、サンマのみりん干し、サンマのポーポー焼き、アンコウのどぶ汁が認定されました。

100年フード宣言のロゴマーク



四ツ倉駅人道橋・西口交通広場を供用開始

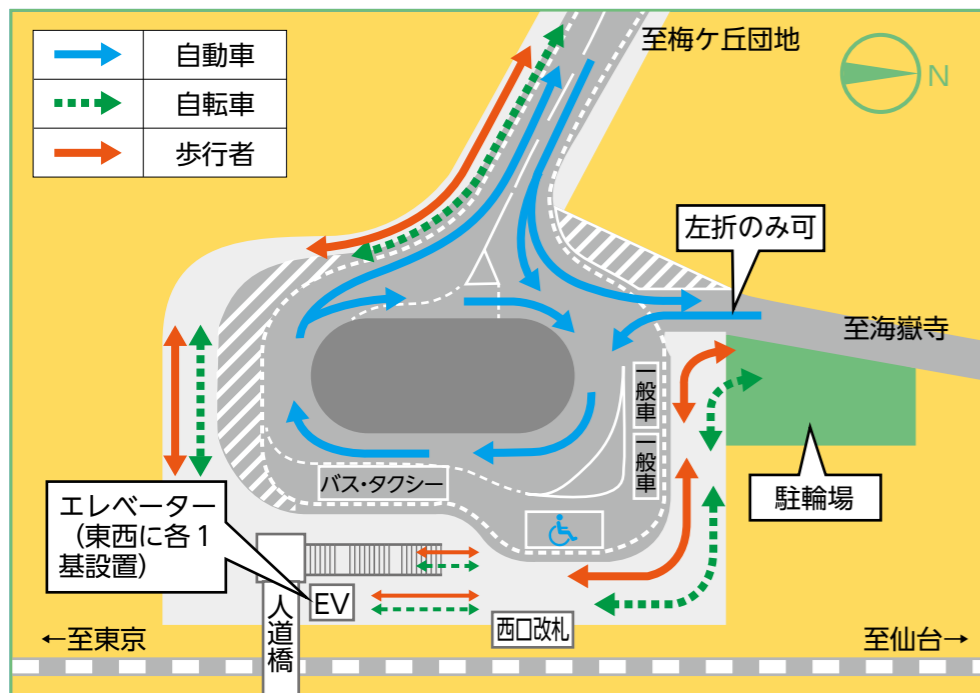
東日本大震災以降、災害公営住宅や復興公営住宅などの建設に伴い、JR四ツ倉駅西側地区の居住人口が大幅に増加しました。西側地区と市街地のある東側地区とのアクセスを強化し、市民の皆さんの利便性の向上を図るため、同駅の東西を横断できる人道橋と、西口には新たな交通結節点となる交通広場を整備し、三月二十六日から供用を開始しました。

○さまざまな整備を実施
人道橋は通行に十分な幅員を確保するとともに、エレベーターを設置することで、車いすや自転車での利用もできるなど、バリアフリーに配慮しています。

また、今回の整備に伴い駅舎を改築したほか、東口の駅前広場の舗装・照明の入れ替えなどのリニューアルも行いました。

○西口交通広場の通行方法の確認を
西口交通広場内の自動車走行は一方通行で、北側からの進入は左折のみです。詳しくは、同課へお問い合わせください。

○西口交通広場図と通行方法



○西口交通広場の施設概要

- ▼所在地 四倉町字鬼越地内
- ▼乗降場 一般車両用は2台、障がい者用は1台、バス・タクシー用は1台
- ▼駐輪台数 百14台

※駐輪場について詳しくは、

市民生活課（☎ 22・1152）へお問い合わせください。

○お問い合わせ
都市整備課管理係
☎ 22・7530